



Business Report

第107期 近況報告

2007年4月1日～2007年9月30日



富士急行株式会社



世界初! フルボディ実寸大1/1ガンダム登場!



GUNDAM **CRISIS**

© 創通・サンライズ

CONTENTS

ごあいさつ	1
事業別概況(連結)	2
中間連結財務諸表	4
中間単独財務諸表	6
ニュース & トピックス	8
株主の方へのお知らせ	10
会社概況・株式情報	12
株主優待のご案内・株主メモ	13



株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。
心から御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加などにより、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で原油価格の高騰や個人消費の伸び悩みなど先行き不透明な状況も続いております。

このような状況のもと、当社グループは、レジャー・サービス事業において今夏、富士急ハイランドに、実寸大ガンダムを格納した新アトラクション「GUNDAM CRISIS (ガンダム クライシス)」を導入するとともに「ワーナー・ブラザーズ」のアニメーションキャラクターを用いた新テーマゾーン「カートゥーン ラグーン (CARTOON LAGOON)」をオープンいたしました。また富士南麓の遊園地「Grinpa (ぐりんぱ)」には「M78ウルトラマンパーク」を、山中湖畔旭日丘においてはアウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」をオープンし、独自性の高い施設・商品の導入を図り、増収に努めました。

運輸事業では乗合バスにおいて、4月に横浜市内の路線「桜木町駅前～本牧元町循環線」の運行を開始し、高速バスにおいては中央道と直結した圏央道を経由する「高崎・前橋～富士五湖線」を7月に新規開設し、事業エリアの拡大と積極的な営業活動に努めました。また、9月に静岡県小山町で開催された「F1日本グランプリ」において富士急行線の臨時列車を運行し、大規模なシャトルバス輸送を行いました。

その結果、当中間期の連結売上高は248億14百万円（前年同期比7.2%増）となりましたが、富士急ハイランドが天候不順や他社遊園地事故の影響などにより、入園者が減少したため、経常利益は22億19百万円（同17.0%減）、中間純利益は10億78百万円（同28.6%減）となりました。

下期におきましても、原油価格の高騰、消費者物価の値上がり等当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループはオリジナリティ溢れる施設・サービスの提供と、さらなる事業の効率化を図り、グループ一体となって業績の向上に努めてまいります。

今後とも当社グループは、「いつも喜び・感動」の経営理念のもと、安全を全てに優先し120%の安全と最高のホスピタリティを提供し、コンプライアンスを重視した経営により、引き続き企業の社会的責任を果たしアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまには、なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

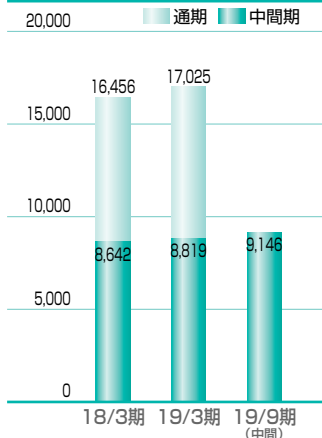
平成19年11月

代表取締役社長 **堀内 光一郎**

事業別概況 (連結)

運輸部門

売上高の推移 (単位: 百万円)



鉄道事業につきましては、富士急行線では9月の「F1日本グランプリ」等における首都圏からの臨時列車を設定し輸送力の増強と増収に努めました。

バス事業のうち乗合バス営業においては、4月に横浜市での「桜木町駅前～本牧元町循環線」の運行開始や、東京都港区コミュニティバス「ちいばす」では利便性向上のため路線を延長するなど、首都圏での事業の拡充を図りました。また本年は富士山登山バスの利用者が増加しました。

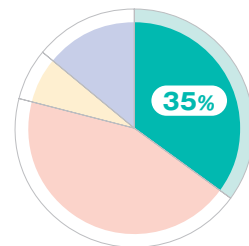
高速バス営業においては、圏央道開通に合わせ高速バス「高崎・前橋～富士五湖線」を開設しました。

貸切バス営業においては、引き続きバスセールスセンターによるトータルセールスの強化や効率的な車両運用に努めたほか、「F1日本グランプリ」では、神奈川・静岡及び山梨から大規模なシャトルバス輸送を行いました。この結果、ハイヤー・タクシーなどの各事業の増収もあり、運輸業全体の売上高は91億46百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は10億31百万円（前年同期比26.7%増）となりました。



フジサン特急

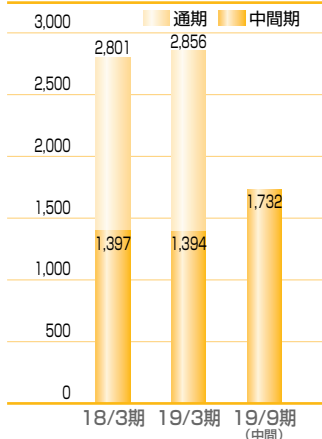
売上高構成比



ちいばす

不動産部門

売上高の推移 (単位: 百万円)



不動産販売事業につきましては、バリューアップ戦略・エリア戦略に基づき、山中湖畔別荘地においては“大人のこだわり”を実現する建売商品の販売に積極的に取り組んでおり、中でも「ガレージハウス山中湖」は、クルマと人との関わり方にこだわる方々に好評を博しております。また、ログホームメーカーとのコラボレーションでは、「ホンカガーデン山中湖」も好評のうちに完売となりました。

また、別荘でのリゾートライフをさらに快適にお過ごしいただくため、各種イベントの開催、また別荘オーナーとのコミュニケーションを強化し、様々なご要望にお応えするサービスをご提案いたしております。この結果、売上高は17億32百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益は4億76百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

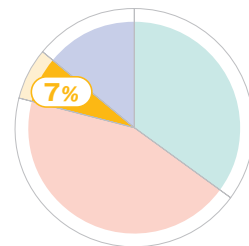


森の駅旭丘



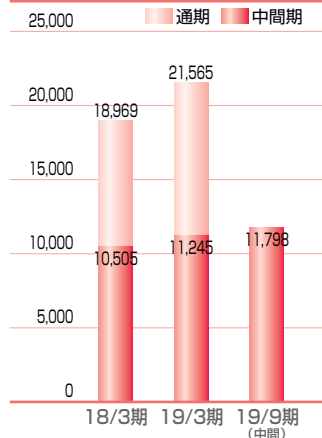
ホンカガーデン山中湖

売上高構成比



レジャー・サービス部門

売上高の推移 (単位: 百万円)



遊園地事業につきましては、富士急ハイランドにおいて7月に新アトラクション「ガンダム クライシス」、新テーマゾーン「カートゥーンラグーン」をオープンさせるとともに、世界最恐お化け屋敷「戦慄迷宮」の完全リニューアルを行うほか、時宜に応じたイベントを実施し増収に努めました。天候不順や他社遊園地事故の影響を受け減収となりました。

富士南麓のフジヤマ リゾートの遊園地「Grinpa (ぐりんぱ)」では、7月に新テーマゾーン「M78ウルトラマンパーク」をオープンし、利用客の増加に努めました。

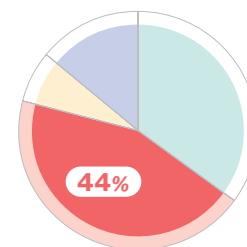
また、本年2月に事業を譲り受けた「さがみ湖ピクニックランド」では、新アトラクションの導入等を行い、増収に寄与しました。

その他レジャー部門では、オーガニックレストランを併設したアウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」をオープンさせ需要の喚起に努めました。この結果、売上高は117億98百万円（前年同期比4.9%増）となりましたが、営業利益は、税法改正に伴う減価償却費増加等もあり12億6百万円（前年同期比37.7%減）となりました。



ええじゃないか

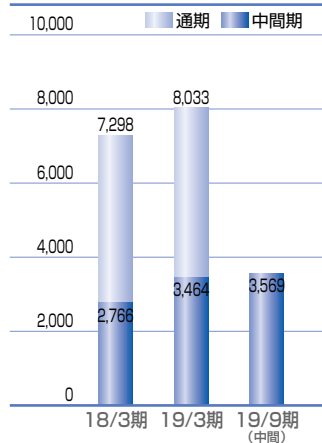
売上高構成比



ふじやま温泉

その他部門

売上高の推移 (単位: 百万円)

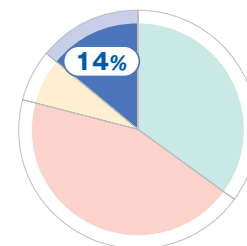


情報処理サービス業につきましては、交通機器安全装置等の販売を積極的に展開し順調に推移しました。製造販売業ではミネラルウォーター販売が引き続き非常用保存水としての需要を取り込み増収に寄与しました。この結果、売上高は35億69百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は34百万円（前年同期比312.6%増）となりました。



富士ミネラルウォーター

売上高構成比



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	25,288	27,689	23,301
現金及び預金	7,920	10,484	6,441
受取手形及び売掛金	2,283	2,247	2,681
たな卸資産	13,822	13,667	13,088
その他の	1,262	1,290	1,090
固定資産	61,645	61,919	62,378
有形固定資産	51,983	52,021	51,922
建物及び構築物	28,066	27,406	28,018
機械装置及び運搬具	8,155	8,981	8,495
土地	13,491	13,468	13,519
建設仮勘定	641	439	275
その他の	1,627	1,726	1,612
無形固定資産	2,998	2,980	3,002
投資その他の資産	6,663	6,917	7,454
投資有価証券	5,134	5,198	5,732
その他の	1,528	1,719	1,721
資産合計	86,933	89,609	85,680

科 目	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	32,530	24,610	22,888
支払手形及び買掛金	2,722	2,305	3,052
短期借入金	24,280	15,860	14,884
賞与引当金	501	502	505
その他の	5,025	5,941	4,445
固定負債	38,211	49,812	46,686
長期借入金	31,711	43,284	40,288
退職給付引当金	1,540	1,574	1,520
その他の	4,959	4,954	4,877
負債合計	70,742	74,423	69,574
(純資産の部)			
株主資本	15,461	14,355	14,932
資本金	9,126	9,126	9,126
資本剰余金	3,399	3,335	3,399
利益剰余金	4,208	3,533	3,661
自己株式	△ 1,272	△ 1,640	△ 1,254
評価・換算差額等	208	535	608
その他有価証券評価差額金	208	535	608
少数株主持分	520	295	564
純資産合計	16,191	15,186	16,105
負債・純資産合計	86,933	89,609	85,680

中間連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業収益	24,814	23,155	46,414
営業費	22,094	20,053	41,703
営業利益	2,720	3,102	4,710
営業外収益	167	183	385
営業外費用	668	610	1,282
経常利益	2,219	2,674	3,813
特別利益	154	4	281
特別損失	413	150	1,223
税金等調整前中間(当期)純利益	1,960	2,529	2,871
法人税、住民税及び事業税	937	982	1,146
法人税等調整額	△ 87	15	△ 30
少数株主利益	32	20	117
中間(当期)純利益	1,078	1,510	1,638

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,058	3,921	6,689
税金等調整前中間(当期)純利益	1,960	2,529	2,871
減価償却費	1,959	1,750	3,566
その他損益等調整額	413	560	1,938
資産・負債の増減額	54	108	371
小計	4,389	4,948	8,747
利息の支払額等	△ 1,331	△ 1,027	△ 2,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,856	△ 2,760	△ 6,234
有形固定資産の取得による支出	△ 2,439	△ 3,453	△ 6,640
その他	582	693	406
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	2,367	△ 948
借入金の増減額	820	2,533	△ 1,439
その他	△ 512	△ 165	490
現金及び現金同等物の増減額	1,509	3,528	△ 493
現金及び現金同等物の期首残高	6,304	6,798	6,798
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	7,814	10,327	6,304

中間連結株主資本等変動計算書

単位:百万円

当中間連結会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日 残高	9,126	3,399	3,661	△ 1,254	14,932	608	564	16,105
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 531		△ 531			△ 531
中間純利益			1,078		1,078			1,078
自己株式の取得				△ 19	△ 19			△ 19
自己株式の処分			0	1	2			2
株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額(純額)						△ 399	△ 44	△ 443
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	546	△ 18	529	△ 399	△ 44	85
平成19年9月30日 残高	9,126	3,399	4,208	△ 1,272	15,461	208	520	16,191

中間単独財務諸表

中間単独貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	第107期中間期 (平成19年9月30日現在)	第106期中間期 (平成18年9月30日現在)	第106期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	20,736	23,262	19,113
現金及び預金	6,137	8,276	4,674
未収運賃	754	875	579
未収金	590	557	655
たな卸資産	11,997	12,305	11,768
その他の	1,264	1,252	1,443
貸倒引当金	△ 7	△ 5	△ 6
固定資産	56,061	56,429	56,940
鉄道事業固定資産	2,859	2,883	2,914
自動車事業固定資産	3,173	3,276	3,169
観光事業固定資産	28,686	28,247	28,609
土地建物事業固定資産	9,773	10,098	10,159
各事業関連固定資産	2,182	2,290	2,271
その他の固定資産	404	417	411
建設仮勘定	236	433	69
投資その他の資産	8,744	8,780	9,335
投資有価証券	5,587	5,328	5,963
長期貸付金	2,834	2,917	2,834
その他の	478	697	699
貸倒引当金	△ 155	△ 162	△ 161
資産合計	76,798	79,691	76,054

科 目	第107期中間期 (平成19年9月30日現在)	第106期中間期 (平成18年9月30日現在)	第106期 (平成19年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	26,288	17,859	17,083
短期借入金	20,585	12,141	11,635
未払金	1,561	2,787	2,016
賞与引当金	81	79	85
その他の	4,060	2,851	3,345
固定負債	34,518	45,229	42,582
長期借入金	29,977	40,965	38,132
退職給付引当金	220	179	164
その他の	4,321	4,084	4,284
負債合計	60,807	63,088	59,665
(純資産の部)			
株主資本	15,843	16,127	15,869
資本金	9,126	9,126	9,126
資本剰余金	3,399	3,398	3,399
利益剰余金	4,153	4,425	4,173
自己株式	△ 836	△ 823	△ 829
評価・換算差額等	146	475	519
その他有価証券評価差額金	146	475	519
純資産合計	15,990	16,602	16,388
負債・純資産合計	76,798	79,691	76,054

中間単独損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	第107期中間期	第106期中間期	第106期
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
鉄 道 事 業			
営業収益	712	682	1,281
営業費	582	548	1,246
営業利益	129	133	35
自 動 車 事 業			
営業収益	1,538	1,517	2,832
営業費	1,150	1,194	2,273
営業利益	388	323	559
観 光 事 業			
営業収益	9,536	9,221	17,684
営業費	8,726	7,655	15,545
営業利益	809	1,566	2,138
土 地 建 物 事 業			
営業収益	1,377	1,073	2,218
営業費	893	730	1,614
営業利益	483	343	604
全 事 業 営 業 利 益	1,811	2,366	3,337

科 目	第107期中間期	第106期中間期	第106期
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営 業 外 収 益	102	81	193
営 業 外 費 用	580	546	1,145
経 常 利 益	1,333	1,901	2,384
特 別 利 益	144	—	114
特 別 損 失	413	141	917
税引前中間(当期)純利益	1,064	1,760	1,582
法人税、住民税及び事業税	599	719	780
法 人 税 等 調 整 額	△ 53	△ 5	6
中 間 (当 期) 純 利 益	518	1,046	794

中間株主資本等変動計算書

単位：百万円

第107期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

	株主資本										評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金			
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金							利益剰余金 合計
						別途 積立金	繰越利益 剰余金						
平成19年3月31日 残高	9,126	2,398	1,000	3,399	1,959	219	1,994	4,173	△ 829	15,869	519	16,388	
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当							△ 538	△ 538		△ 538		△ 538	
中間純利益							518	518		518		518	
自己株式の取得									△ 7	△ 7		△ 7	
自己株式の処分			0	0					1	2		2	
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)											△ 372	△ 372	
中間会計期間中の変動額合計	—	—	0	0	—	—	△ 20	△ 20	△ 6	△ 25	△ 372	△ 398	
平成19年9月30日 残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,974	4,153	△ 836	15,843	146	15,990	

ニュース&トピックス

富士急ハイランドに新規施設が続々オープン

今夏、富士急ハイランドに新規施設が続々オープンしました。

世界初となるフルボディでの実寸大1/1ガンダム（全長約18m）が実際に格納された「GUNDAM CRISIS（ガンダム クライシス）」、ワーナー・ブラザーズのアニメーションキャラクターを用いた新テーマゾーン「CARTOON LAGOON（カートゥーン ラグーン）」「スタジオ ダイニング」がオープン。期間限定のイベントも多数開催し好評をいただきました。



© 創通・サンライズ

遊園地「ぐりんぱ」に「M78ウルトラマンパーク」が誕生

7月、富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」に「M78ウルトラマンパーク」が誕生いたしました。

アトラクションやショップのほか、ウルトラマンやバルタン星人などのお馴染みのキャラクターと一緒に写真を撮れるスポットなどM78ウルトラマンの世界がパーク中に広がる、夢いっぱいテーマゾーンです。



「PICA山中湖ヴィレッジ」がオープン

7月、山中湖の旭日丘エリアに宿泊型アウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」がオープンしました。コテージ、ゲストハウス（レストラン、売店、イベントホールなど）、ハンモックカフェ、オーガニックガーデンなど、自然を感じながらゆったりとくつろげるアウトドアリゾートが広がります。

またこの施設は設計・デザインの段階から環境に配慮し、太陽光や雨水などの自然エネルギー活用、ゴミリサイクルなどの資源の循環や環境負荷の低減を積極的に進めます。



高速バス「高崎・前橋～富士五湖線」を新規開設

6月に中央自動車道と接続した圏央道の開通にともない、「高崎・前橋～富士五湖線」の高速バスを新たに運行開始し、北関東から富士五湖エリアへのアクセスがぐっと便利になりました。また「大宮・川越・所沢～富士五湖線」においても、経路を圏央道経由に変更し、所要時間の短縮を図りました。

富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖ピクニックランドでは、3つの遊園地が利用できる圏央道開通記念チケット「超得Qチケット」も発売しました。



富士吉田・忍野八海・山中湖周遊バス「ふじっ湖号」が運行開始

7月、一市二村（富士吉田市・忍野村・山中湖村）と連携し地域間交流の更なる促進と高齢者等への利便性を兼ねた「ふじっ湖号」の運行を開始いたしました。より身近で親しみのもてるものにするため市民の皆様から愛称を募集いたしました。



HOT NEWS

富士芝桜まつり 平成20年春開催

富士五湖の一つである本栖湖に程近いエリア、富士本栖湖リゾートで「富士芝桜まつり」を平成20年春より開催いたします。

約70万株のシバザクラと約2.4haの植え付け面積はシバザクラを觀賞できる施設としては首都圏最大級となります（当社調べ）

雄大な富士山と、池に映る逆さ富士、そして地元の伝説に由来する竜神を模った一面のシバザクラが楽しめる「富士芝桜まつり」にどうぞご期待下さい。



（イメージ図）

富士に湧く 天然温泉。



ふじやま温泉

富士急ハイランド
中央高速河口湖インター隣接

〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原4-1524

TEL:0555-22-1126

<http://www.fujiyamaonsen.jp/>

- 営業時間 10:00～23:00(受付22:00まで)
- 休業日 メンテナンス休業あり

料金 平日(大人)1,500円 (子ども)750円
土休日(大人)2,000円 (子ども)1,000円

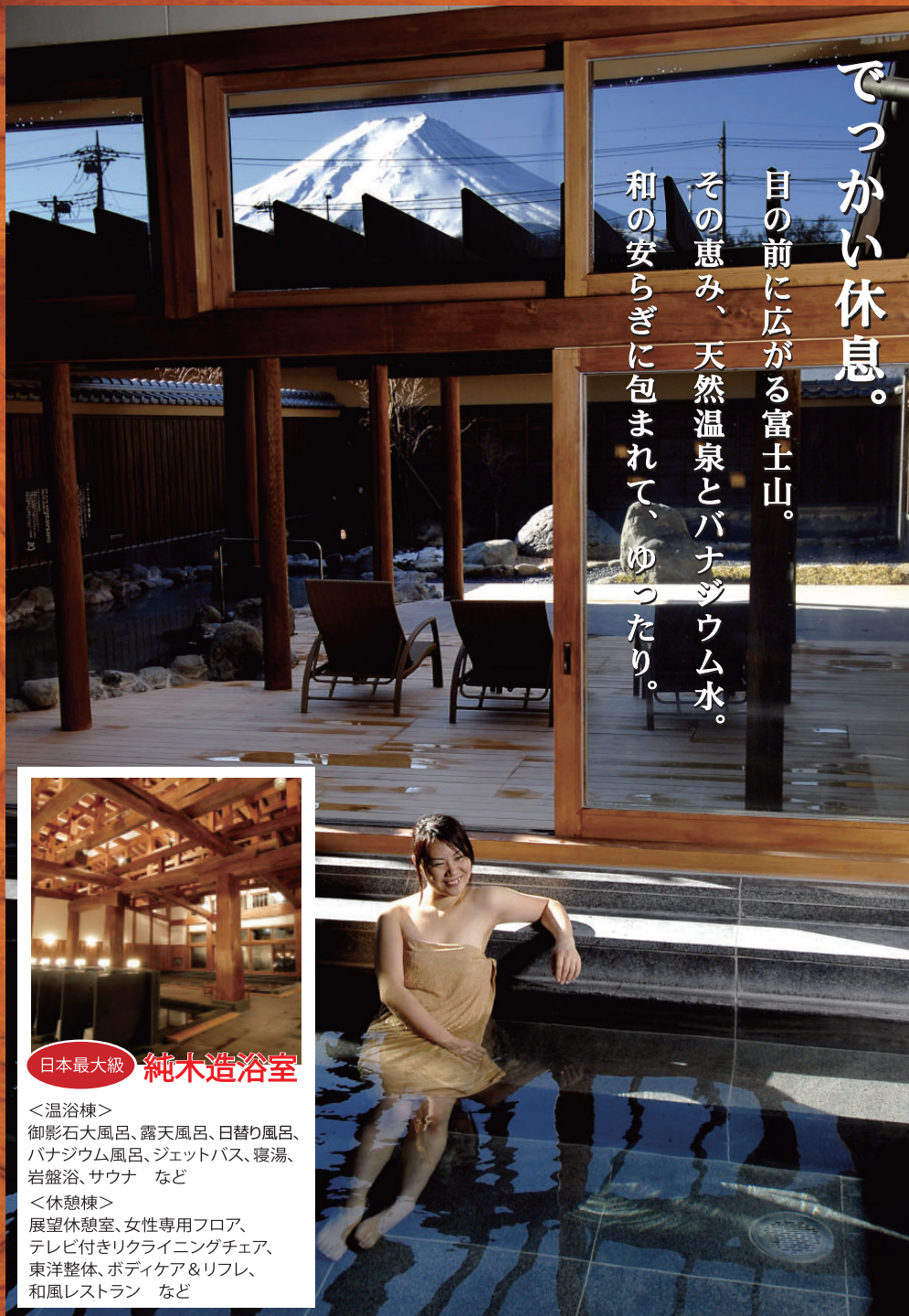
※利用時間制限なし ※子ども:3歳～小学生
※館内着、タオル・バスタオル付き
※オムツの取れていないお子様、刺青の方はご利用になれません

でっかい休息。

目の前に広がる富士山。

その恵み、天然温泉とバナジウム水。

和の安らぎに包まれて、ゆったり。



日本最大級 純木造浴室

<温浴棟>

御影石大風呂、露天風呂、日替り風呂、
バナジウム風呂、ジェットバス、寝湯、
岩盤浴、サウナ など

<休憩棟>

展望休憩室、女性専用フロア、
テレビ付きリクライニングチェア、
東洋整体、ボディケア&リフレ、
和風レストラン など



Fujikyū group Highway bus

富士急グループ高速バス

富士急が贈るとっておきのバスの旅

成田空港線



写真提供・成田国際空港株式会社

■静岡東部発着

新富士駅…5,000円

沼津駅北口…4,500円

予約先 0545-71-2660

■<http://www.j-bus.co.jp>

■松田・小田原発着

松田…4,000円

小田原…3,800円

予約先 0465-82-1362

■<http://www.j-bus.co.jp>

京都・大阪線



■富士五湖・静岡東部発着

河口湖駅・富士急ハイランド～大阪…8,500円

河口湖駅・富士急ハイランド～京都…8,000円

沼津駅北口～大阪…7,600円

沼津駅北口～京都…7,100円

予約先 0555-72-2922

■<http://www.j-bus.co.jp>

新宿線



©財団法人東京観光財団

■富士五湖発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

予約先 0555-72-5111

■甲府発着

甲府駅…1,950円

予約先 055-237-0135

■諏訪岡谷発着

岡谷駅…3,060円

■伊那発着

駒ヶ根市…3,650円

予約先 03-5376-2222

■沼津発着

沼津駅北口…2,100円

千福下…1,800円

予約先 055-929-1144

■<http://www.highwaybus.com>

東京線



©財団法人東京観光財団

■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 0555-72-2922

■沼津発着

沼津駅北口…2,100円

千福下…1,800円

予約先 055-929-1144

■富士宮発着

富士宮駅…2,500円

■富士・吉原発着

富士駅南口・吉原中央駅…2,300円

予約先 0545-71-2660

■<http://www.j-bus.co.jp>

横浜線



■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…2,000円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 0555-72-2922

■<http://www.j-bus.co.jp>

※季節限定で
運行しております。

- 富士五湖～川越・大宮線
- 富士五湖～所沢・大宮線
- 富士五湖～高崎・前橋線
- 富士山五合目～静岡駅線
- 富士五湖～名古屋線
- 富士五湖～静岡駅線
- 富士五湖～新松田線

 富士急行

URL <http://www.fujikyū.co.jp> ☎0555-22-7100

会社概況

会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO., LTD.

所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

設立 大正15（1926）年9月18日

資本金 91億2,634万円

代表者 代表取締役社長 堀内光一郎

主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、
土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、
旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成19年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内光雄	取締役	梶原実
		取締役	小泉孝範
取締役社長 (代表取締役)	堀内光一郎	取締役	石川二比古
専務取締役	帆足雅晴	取締役	福重隆一
専務取締役	澤辺正恭	取締役	小林正幸
常務取締役	堀内哲夫	常勤監査役	矢野勝
取締役	林有厚	常勤監査役	清水守
取締役	宇野郁夫	監査役	堀田力
取締役	秋山智史	監査役	吉奥信一
取締役	藤田讓	監査役	岡本和也
取締役	尾崎護		

連結子会社の状況 (平成19年9月30日現在)

■運輸部門

富士急伊豆タクシー (株)
富士急山梨ハイヤー (株)
(株) 富士急マリンリゾート
他6社

■不動産部門

(株) 富士急リゾートアメニティ
他1社

■その他部門

(株) 富士急百貨店
富士急建設 (株)
(株) レゾナント・システムズ
富士ミネラルウォーター (株)
他4社

■その他部門

(株) ピカ
他2社

株式情報

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数 331,695,000株
発行済株式総数 109,769,477株
株主数 5,581名

単元未満株式の買取および買増制度のご案内

・単元未満株式の**買取制度**
株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取らせていただく制度です。

・単元未満株式の**買増制度**
株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるような株式を、当社が市場価格にて株主様に売却する制度です。

当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本店および全国各支店、野村證券株式会社全国本支店にて受付けております。また株券保管振替制度をご利用の株主様は、株券を預託された証券会社へお申し出下さい。

〈単元未満株式の買取および買増制度に関するお問い合わせ先〉

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
0120-244-479 (24時間自動音声応答)

大株主 (平成19年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,709	9.76
富国生命保険相互会社	10,700	9.75
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
みずほ信託退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,555	2.33
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25
富士急行株式会社 (自己株口)	2,100	1.91
日野自動車株式会社	2,006	1.83

株主優待のご案内

電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上	電車全線乗車(1枚につき片道1名乗車) バス全線乗車(1枚につき片道1名乗車) 富士急ハイランド入園(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) ぐりんぱ入園(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)	7枚
3,000株以上	さがみ湖ピクニックランド(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) スノータウン「Yeti」(5枚につき1日券1枚と引換) あだたら高原スキー場(5枚につき1日リフト券又は Gondola 往復券1枚と引換)	10枚
5,000株以上	初島アイランドリゾート(1枚につき1名入園) 天上山公園カチカチ山ロープウェイ(1枚につき1名乗車(往復)) 河口湖遊覧船(1枚につき1名乗船)・山中湖遊覧船(1枚につき1名乗船)・本栖湖遊覧船(1枚につき1名乗船)	15枚
10,000株以上	初島航路(1枚につき1名乗船(片道)) フジヤマミュージアム(1枚につき1名入館) ふじやま温泉(2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)	25枚
20,000株以上	富士芝桜まつり(富士本栖湖リゾート)(1枚につき1名入園) ※平成20年4月25日～6月1日開催予定	40枚

フリーパス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上		1枚
3,000株以上		2枚
5,000株以上	遊園地フリーパス(富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖ピクニックランド)	3枚
10,000株以上	スキー場一日券(スノータウン「Yeti」・あだたら高原スキー場)	4枚
20,000株以上		5枚
35,000株以上		6枚

施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上	ハイランドリゾートホテル&スパ ホテルマウント富士	1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引 2枚
	富士急グループホテル プール割引券	ハイランドリゾートホテル&スパ・ホテルマウント富士 20%割引(1枚につき4名まで)
	あだたら高原富士急ホテル 富士宮富士急ホテル 甲府イーストサイドホテル	3ホテル共通1枚につき1室室料20%又は 自社企画宿泊商品10%割引
	富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー、食事付入浴 10%割引 (1枚につき4名まで)
	富士ゴルフコース	
	ゴルフパーク「Bandi」	バック料金から2,000円割引 (1枚につき4名まで)
	大富士ゴルフ場	
	ふじやま温泉	入館料 平 日 大人750円 小人400円 土休日 大人1,000円 小人500円 (1枚につき4名まで)
	PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟(1泊2食)最大20%割引 レストラン「P's natural」5%割引
	PICA富士吉田・PICA富士西湖・ キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引(1ケース以上)
	富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)
	富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円(1枚につき4名まで)
	富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引

長期保有特別優待券 (3年継続保有毎)

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
10,000株以上	「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定する	2枚
35,000株以上	ツインルーム室料100%又はホテル内レストラン利用料30%割引券	3枚

注)対象となる方は、過去3年間すべての基準日において、1万株以上又は3万5千株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に限ります。
証券保管振替機構をご利用になる際など、株主番号が変更になる場合には、登録する氏名の新字体と旧字体の違いなどにもご注意ください。
注)年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等、ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。レストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
5,000株以上		1枚
10,000株以上	高速バス乗車券	2枚
20,000株以上		4枚

注)高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・甲府線および東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線優待パス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
35,000株以上	電車・バス全線優待パス(表示された持参人1名)	1枚

各種株主優待券の発行時期および有効期間

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月	6月1日～11月30日
9月30日現在の株主様	11月	12月1日～5月31日

※各種株主優待券は毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。
※長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話問合せ)
郵便物送付先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
Tel.0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

公告方法 東京都において発行する日本経済新聞に掲載



富士急行株式会社

本 社 山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社 東京都渋谷区初台一丁目55番7号
<http://www.fujikyu.co.jp/>



本冊子は、再生紙を使用しています。